



親子で遊ぼうパン作り 終了報告

平成28年5月29日

神奈川県立 愛川ふれあいの村 主催事業

夏を思わせる陽気の中、愛川ふれあいの村の主催事業『親子で遊ぼうパン作り』を開催しました。空は青く、強い日差しので、天候に恵まれた1日でした。14家族48名の参加者の方と、スペシャルトッピングを練り込んだ2種類のパンを美味しく食べました！



美味しいパンをつくるためには班で協力する必要があります！そのため、体と頭を使うゲームをして参加者の緊張をほぐします。そして、班の中で自己紹介をすることで参加者同士の距離が縮まっていきます。今回のメニューは地元津久井の地粉を使用したパンと、『季節の野菜たっぷりスープ』です。スペシャルトッピングには『レーズン』と『グリーンピース』を練り込みました。班のみんなで協力して生地をこねます。子どもたちが生地をこねやすいように、小さくちぎって班のみんなでこねる工夫をしていました。



こねおわったら、生地を発酵させている間に職員から、火起こしとスープ作りのレクチャーを受けます。班の中で火係と食材係に分かれました。火係の中にはマッチで火を付けるのが初めての子もいました。火を付けるコツをお父さんが教えてあげているのかと思いきや、他の家族のお父さんでした！思わず間違えてしまうほど、班の中での距離が縮まり、クッキングを通して兄弟や家族の壁を越えて、仲良くなっていました。発酵が終わったらいよいよ棒に生地を巻き付けます。ふんわりと膨らんだ生地、子どもたちからも歓声が上がります。



パンとスープができれば、班ごとに「いただきます」。レーズンのパンやグリーンピースのパン、プレーンパンと一斉にみんな手が伸びていきます！「焼きたてパンが美味しい！」「みんなで作ったスープも美味しい！」とそれぞれに満足げな表情を見せていました。作る人によって、太さも大きさも違うパンをみんなで分け合っただけの食卓はまるで大きなひとつの家族のようでした。



食べ終わると待っているのはお片づけ♪大人はもちろん、子どもたちも率先してすすのついた真っ黒の鍋を洗っていました。片づけが終わると一目散にスタッフの所に来て「終わったよ！」「遊ぼう！」「なにをする！」と目を輝かせていました。お片づけまでがクッキングなので、班のみんなで素早くきれいに協力して片づけが出来たことに意義があると思います。



今回のパン作りは班のみんなの協力なしには完成しなかったと思います。また、地元産の粉を使ったパンを作って食べることは、身近なところに美味しいものがあるという気付きを与えてくれました。産地が近いということで、食への安心安全を感じたり、旬の食材でこんなに美味しいものが作れるという食への関心をもっただけなのではないかと思えます。皆さんも、家族で協力して料理を作って、親睦を深めてみてはいかがでしょうか。この度は『親子で遊ぼうパン作り』にご参加いただき、誠にありがとうございました。また、愛川ふれあいの村でお会いできることを、心より楽しみにしております。【文責：石川（う～ま）】